

## 【資料 4】

### 令和 2 年度第 2 回みきっ子未来応援協議会 就学前教育・保育部会の取組

日 時 令和 3 年 3 月 1 5 日 (月) 午後 7 時～ 8 時 3 0 分

出席者 部会委員 8 名 事務局 4 名

議 題 (報告事項)

1. 三木市就学前児童の人口、就園児数等の現状について
2. 志染保育所について
3. よかわ認定こども園民間運営について

(主な意見・感想)

1. 就学前児童の人口、就園児数の現状について
  - ・三木市全体の数値だけでは、本当の児童受入不足数や入園待ちの児童数が見えない。定員に空きのある園や定員を満たしている園など、ばらつきがあるのではないか。どこの地域で受入不足が生じているのか、どこの園が足りないのか、もっと詳細な調査が必要である。
2. 志染保育所について
  - ・志染保育所の存続や認定こども園化について、現在予測している児童の受入不足がもっと前倒しで起こる可能性もあるので、一刻も早くスピーディーに進めてほしい。
  - ・施設を作っても、保育士がいないと成り立たないのではないか。とにかく保育士確保が必要である。
  - ・志染保育所を存続・認定こども園化をしても、児童の受入不足はカバーできないのではないか。
  - ・保育士不足について、保育協会も尽力しているが、教育委員会ももっと力になってほしい。
  - ・大学の生徒を見ていると、5万円の給料差があっても、自分が行きたい職場を選んでいる。もっと学生の考えや希望を調べてみてはどうか。
3. よかわ認定こども園民間運営について
  - ・在園中に経営者が変わることで、子どもや保護者は不安を感じる方もいるのではないか。
  - ・保育士は確保できているのか。市外に出てしまわないよう対処してほしい。
  - ・医療的ケアの必要な子どもに対応できる園は、全園ではないはず。民間になっても、そういった支援を要する子どもが受け入れられるよう

にしてほしい。

#### 4. その他

- ・周りで3歳児の1号認定児家庭がたくさん落選している。園区にしばられてしまうため、うまく入園できないのではないか。
- ・入所のお知らせが遅すぎる。
- ・育児は大変だが、その時期にしか経験できないすばらしい事業である。子どもはやはり親と過ごす時が一番幸せな顔をしている。
- ・育児の大変さは、昔と違って周りに子育て仲間がないことが理由の一つにあるのではないか。子育てが苦しいと思った時に、家庭保育でも大丈夫だと思えるような支援の必要性を感じる。